

関東信越厚生局長 殿

東京都板橋区大谷口上町
日本大学医学部附属板橋
病院長 澤



日本大学医学部附属板橋病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平 2 1 年度の業務
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	165.1人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	427人	80.3人	507.3人	看護補助者	48人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	7人	3.93人	10.9人	理学療法士	11人	臨床検査技師	85人
薬剤師	45人	0.2人	45.2人	作業療法士	1人	衛生検査技師	0人
保健師	63人	0人	63.0人	視能訓練士	5人	その他	0人
助産師	745人	0人	31.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	1人
看護師	7人	12.8人	757.8人	臨床工学技士	21人	医療社会事業従事者	5人
准看護師	12人	0人	7.0人	栄養士	3人	その他の技術員	0人
歯科衛生士	2人	1.8人	3.8人	歯科技工士	1人	事務職員	85人
管理栄養士	13人	0人	13.0人	診療放射線技師	62人	その他の職員	30人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	784.8人	3.9人	788.7人
1日当たり平均外来患者数	2171.5人	61.0人	2232.5人
1日当たり平均調剤数	外来分：18.0剤 入院分：785.9剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	オープンステントグラフト内挿術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 胸部大動脈瘤に対する人工心肺下オープンステントグラフト内挿術			
医療技術名	膀胱水圧拡張術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 間質性膀胱炎は原因不明で難治性の排尿障害を伴う疾患である。内服では治療困難な症例が多いため当治療が推奨され、腰椎麻酔下で、生理食塩水を使用し膀胱に80mH ₂ Oの水圧をかけて拡張を行う。			
医療技術名	腹腔鏡下リンパ節郭清術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術 泌尿器生殖器腫瘍のリンパ節転移又は画像上リンパ節転移が疑われるものに限る			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	94人	・膿疱性乾癬	8人
・多発性硬化症	93人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・重症筋無力症	206人	・原発性胆汁性肝硬変	404人
・全身性エリテマトーデス	779人	・重症急性膵炎	17人
・スモン	11人	・特発性大腿骨頭壊死症	10人
・再生不良性貧血	91人	・混合性結合組織病	122人
・サルコイドーシス	185人	・原発性免疫不全症候群	4人
・筋萎縮性側索硬化症	17人	・特発性間質性肺炎	72人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	343人	・網膜色素変性症	30人
・特発性血小板減少性紫斑病	235人	・プリオン病	3人
・結節性動脈周囲炎	36人	・肺動脈性肺高血圧症	1人
・潰瘍性大腸炎	392人	・神経線維腫症	7人
・大動脈炎症候群	31人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	10人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	85人	・慢性血栓性肺高血圧症	0人
・脊髄小脳変性症	83人	・ライソゾーム病	0人
・クローン病	84人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	13人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	430人
・悪性関節リウマチ	23人	・脊髄性筋萎縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	782人	・球脊髄性筋萎縮症	0人
・アミロイドーシス	72人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	6人
・後縦靭帯骨化症	155人	・肥大型心筋症	146人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	4人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	10人	・ミトコンドリア病	1人
・ウェゲナー肉芽腫症	37人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	3人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	13人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	30人	・黄色靭帯骨化症	40人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	506人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元	
角膜における細胞外ドメインシェディングを紹介した病態生理機構の解明	崎元 暢	眼科	90万円	補	科学研究費・若手研究(B)
動的光散乱法による非侵襲的前房内組成定量装置の開発	忍田 太紀	眼科	60万円	補	科学研究費・若手研究(B)
心臓外科手術における心房性ナトリウム利尿ペプチドの抗不整脈効果に関する研究	瀬在 明	心臓外科	26万円	補	学術振興会科研費
心臓手術における心房性ナトリウム利尿ペプチドの有効性	瀬在 明	心臓外科	50万円	補	日本大学医学部創立50周年記念研究奨励金
希少難治性皮膚疾患に関する調査研究	照井 正	皮膚科	300万円	補	厚生労働科学研究費補助金
Occult HBV感染症の分子疫学ないし臨床病理学的研究	森山 光彦	内化学系消化器肝臓内科部門	180万円	補	日本大学医学部(創立50周年記念研究奨励金)研究費
骨粗鬆症椎体骨折に対する低侵襲治療法の開発	徳橋 泰明	整形外科	200万円	補	厚生労働省科学研究費
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	吉田 行弘	整形外科	35万円	補	厚生労働省科学研究費
椎間可動性を温存した脊椎制動システムの開発	徳橋 泰明	整形外科	90万円	補	厚生労働省科学研究費
臍帯血DLIの実用化と細胞治療製剤の医薬品へ向けてのトランスレーショナルリサーチ	麦島秀雄	小児科	120万円	補	厚生労働省
小児悪性腫瘍領域における体系的な臨床試験に基づく適応外医薬品の臨床導入の妥当性検討に関する研究	麦島秀雄	小児科	200万円	補	厚生労働省
Wilms腫瘍に対する生物学的予後因子により層別化した新規治療プロトコールの開発	麦島秀雄	小児科	10万円	補	日本学術振興会
小児・若年成人等の多様な希少がん腫に対する効果的治療開発に関する研究	麦島秀雄	小児科	100万円	補	厚生労働省
臍帯血移植における生着促進を目的とした細胞治療の開発	麦島秀雄	小児科	90万円	補	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元	
神経芽腫におけるリスク分類にもとづく標準的治療の確立と均てん化および新規診断・治療法の開発研究	麦島秀雄	小児科	50万円	補	厚生労働省
再発小児固形腫瘍に対する塩酸ノギテカンとイホスファミド併用療法の第Ⅰ／Ⅱ相臨床試験	麦島秀雄	小児科	50万円	補	厚生労働省
進行性心臓伝導障害におけるギャップジャンクションの遺伝子異常と分子病態の解明	住友直方	小児科	100万円	補	文部科学省
単一遺伝子疾患における遺伝子変異の新規検出方法確立—関連解析の応用—	中山 智祥	臨床検査医学科	160万円	補	学術振興会科研費
大脳局所皮質厚測定の最適化と容積データとの比較	阿部 修	放射線科	221万円	補	学術振興会科研費
ブルガダ症候群における右室活動電位持続時間の回復特性の特徴と遺伝子変異との関連性	渡辺 一郎	循環器内科	100万円	補	日本大学学術研究助成金
心房細動と繊維化関連 biochemical maker の臨床的意義：アブレーションによる影響と電気生理学的特性との関係	奥村 恭男	循環器内科	100万円	補	医学部助成金 同窓会 60 周年医学助成金
Brugada 症候群に対する高分解能心電図 (Dream ECG) を用いたリスク評価法に対する研究	渡辺 一郎	循環器内科	200万円	補	福田記念医療技術振興財団
不安定プラークの評価と病理組織所見との対比とプラーク安定性の機序解明	平山 篤志	循環器内科	143万円	補	科学研究費補助金 基盤研究 (C)
SMON に関する研究	亀井 聡	神経内科	250万円	委	厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業)
呼吸不全に関する調査研究	赤柴 恒人	睡眠センター	120万円	補	厚生労働科学研究費
健康づくりのための休養や睡眠の有り方に関する研究	赤柴 恒人	睡眠センター	100万円	補	厚生労働科学研究費
肥満・残存高血圧合併症・睡眠時無呼吸患者に対する防風通聖散及び大柴胡湯の治療効果の比較と病態生理の解明	赤柴 恒人	睡眠センター	80万円	補	厚生労働科学研究費
降圧治療および抗凝固療法の個人の特性に応じたテーラーメード治療確立に関する研究	相馬 正義	総合科 (内科担当)	15万円	補	厚生労働科学研究費
気道上皮透過性因子の同定とその臨床応用	権 寧博	総合科 (内科担当)	150万円	補	学術振興会科研費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元	
				補助元	委託元
前立腺細胞増殖に関する内分泌関連タンパク解析	高橋 悟	泌尿器科	70万円	補	文部科学省
男性泌尿生殖器における局所免疫とSTI	高橋 悟	泌尿器科	100万円	補	私立大学戦略的研究期質形成支援事業
「がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動」善率せんがんの予防介入研究	高橋 悟	泌尿器科	80万円	補	文部科学省
前立腺癌におけるETS Familyと癒合する遺伝子群のアンドロゲン応答機構	大日方 大亮	泌尿器科	100万円	補	日本大学医学部同窓会
ナノ物質を基盤とする光・量子技術の極限追求	越永 従道	小児外科	100万円	補	地域共同研究
Wilms 腫瘍に対する生物学的より送別かした新規治療プロトコルの開発	越永 従道	小児外科	10万円	補	科学研究費補助金(基盤研究(B))
MYCY 遺伝子を標的とした神経芽細胞腫の新規治療と開発	越永 従道	小児外科	681万円	補	日本大学学術研究助成金(総合研究)
小児固形腫瘍, 特に小児肝臓における腫瘍感受性遺伝子ならびに関連因子に関する研究	池田 太郎	小児外科	169万円	補	科学研究費補助金(基盤研究(C))
小腸移植拒絶反応制御を目的とした集学的治療の確立	杉藤 公信	小児外科	91万円	補	科学研究費補助金(基盤研究(C))
神経芽腫における MYCY 遺伝子を標的とした PI ポリアミドの抗腫瘍効果に関する研究	大橋 研介	小児外科	234万円	補	科学研究費補助金(基盤研究(C))
新規腸管傷害モデルマウスを用いた小腸絨毛の修復過程における骨髄由来細胞の関与	益子 貴行	小児外科	351万円	補	科学研究費補助金(若手研究(B))
iPS 細胞技術を用いた腫瘍肝細胞のリプログラミングによる小児難治性肉腫の治療開発	草深 竹志	小児外科	30万円	補	科学研究費補助金(基盤研究(A))
健康づくりのための休養や睡眠の在り方に関する研究	内山 真	精神神経科	100万円	補	厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)
うつ病と睡眠問題の疫学的関連性及び睡眠指導によるうつ病予防	内山 真	精神神経科	100万円	補	科学研究費補助金(基盤研究(C))
がん患者の支持療法・緩和療法の技術の向上及びその評価に関する研究	金野 倫子	精神神経科	150万円	補	国立がん研究センターがん研究開発費

- 注1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
Allergol Int. 58:585-589. 2009	Clinical evaluation of total IgE in tears of patients with allergic conjunctivitis disease using a novel application of the immunochromatography method	Inada N, Shoji J, Kato H, Kiely S, Mulyanto, Sawa M	眼科
Allergol Int. 58:591-597. 2009	Evaluation of novel scoring system named 5-5-5 exacerbation grading scale for allergic conjunctivitis disease	Shoji J, Inada N, Sawa M	眼科
Intern Med. 48:1457-1460. 2009	Combination of abducens nerve palsy and ipsilateral postganglionic Horner syndrome as an initial manifestation of uterine cervical cancer	Tsuda H, Yorinaga Y, Tamada Y, Kutsuki S, Nakanoma T, Tai K, Yoshioka M, Ishihara N, Sekine Y, Ishikawa H	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci 50:4618-4621. 2009	Release of soluble tumor necrosis factor receptor 1 from corneal epithelium by TNF-alpha-converting enzyme-dependent ectodomain shedding	Sakimoto T, Yamada A, Sawa M	眼科
J Infect Dis 187:464-466. 2009	Trial of influenza HA vaccination for healthcare workers in consecutive years	Fujita Y, Okada T, Mugishima H, Kumasaka K, Sawa M, Tachihara S	眼科
Jpn J Ophthalmol 53:92-99. 2009	Evaluation of eotaxin-1, -2, and -3 protein production and messenger RNA expression in patients with vernal keratoconjunctivitis	Shoji J, Inada N, Sawa M	眼科
Jpn J Ophthalmol 53:120-124. 2009	Comparison of surgical procedures for vitreous surgery in diabetic macular edema	Shiba T, Kamura Y, Yagi F, Sato Y	眼科
Jpn J Ophthalmol 53:425-432. 2009	Minimum endotoxin concentration causing inflammation in the anterior segment of rabbit eyes	Sakimoto A, Sawa M, Oshida T, Sugaya S, Hirono T, Ishimori A	眼科
眼科 51: 791-797, 2009	抗悪性腫瘍薬 TS-1 による角膜上皮障害の検討	立花敦子, 稲田紀子, 庄司純, 澤 充	眼科
眼科 51:909-915, 2009	0.1%シクロスポリン点眼により治療した春季カタル8症例の検討	原田奈月子, 稲田紀子, 庄司純, 澤 充	眼科
眼科 51:923-926, 2009	コンタクトレンズ関連角膜潰瘍の1例	能谷聡子, 崎元 丹, 稲田紀子, 庄司純, 澤 充	眼科
新薬と臨床 58:2086-2098, 2009	アレルギー性結膜炎患者の求める診断・治療ニーズについて インターネット患者アンケート全国調査 2009 年度報告	中川やよい, 内尾英一, 岡本茂樹, 佐竹良之, 庄司純, 深川和己, 福島敦樹, 福田 憲, 藤島 浩, 宮崎 大, 横井則彦, 高村悦子	眼科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
眼科 52:319-323, 2010	Kingella kingae が検出されたコンタクトレンズ関連角膜炎感染症の1例	熊川真樹子, 稲田紀子, 庄司純, 矢越美智子, 大楠清文, 澤充	眼科
眼科 52:101-105, 2010	眼科初診で発見された脳動脈瘤破裂による Terson 症候群の1例	中島正巳, 中西美紗子, 岩田光浩, 堀真輔, 福島崇夫, 星野達哉	眼科
Circ J 2009;73(1):69-72	Outcome of less invasive proximal arch replacement with moderate hypothermic circulatory arrest followed by aggressive rapid re-warming in emergency surgery for type A acute aortic dissection	Hata M, et al.	心臓外科
日大医誌 2009;68:6-10	スタンフォードA型急性大動脈解離症治療の実際	秦 光賢 他	心臓外科
Clinician 9;No. 576Vol156:87-93	Warfarin と PPI の相互作用は?	秦 光賢	心臓外科
心血管画像MOOK 2009; 2: 96-99	積極的脂質コントロール療法による冠状動脈バイパス術後大伏在静脈病変予防効果	秦 光賢 他	心臓外科
Surgery Today 2009;39:353-5	Less invasive quick replacement of the proximal arch with aggressive rapid rewarming for type A acute aortic dissection.	Hata M, et al.	心臓外科
Annals of Thoracic Surgery 2009;88:1440-4	Efficacy of aggressive lipid controlling therapy for preventing saphenous vein graft disease	Hata M, et al.	心臓外科
医学と薬学 2010;63:315-323	心血管疾患予防戦略の新展開—最新の大規模臨床試験からの考察—	秦 光賢	心臓外科
Annals of Thoracic Surgery 2010;89:1860-5	Midterm outcome of rapid, minimally invasive resection of acute type A aortic dissection in octogenarians	Hata M, et al.	心臓外科
医学と薬学 2010;64:63-68	重症多枝病変例における虚血性心疾患発症時の脂質レベルと頸動脈病変合併率の検討	秦 光賢 他	心臓外科
Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery 2010;16:228-235	Clinical trends in optimal treatment strategy for type A acute aortic dissection	Hata M, et al.	心臓外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Circulation 2009;73:264-268	Journal Optimal clinical pathway for the patient with type B acute aortic dissection	Niino T, et al	心臓外科
Thoracic and Cardiovascular Surgeons 2010;58:164-8	Efficacy of neutrophil elastase inhibitor on type A acute aortic dissection.	Niino T, et al	心臓外科
Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery 2009;137:895-900	Study of the factors related to atrial fibrillation after coronary artery bypass grafting: a search for a marker to predict the occurrence of atrial fibrillation before surgical intervention.	Sezai A, et al	心臓外科
Surgery Today 2009;39:300-5	A transesophageal echocardiographic and cine-fluoroscopic evaluation of an ATS prosthetic valve opening.	Sezai A, et al	心臓外科
Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery 2010;139:1494-500	Fifteen years of experience with ATS mechanical heart valve prostheses	Sezai A, et al	心臓外科
Journal of American Collage of Cardiology 2009;54:1058-64	Influence of continuous infusion of low-dose human atrial natriuretic peptide on renal dysfunction during cardiac surgery: a randomized controlled study	Sezai A, et al	心臓外科
Annals of Thoracic Surgery 2009;88:1333-5	New treatment with human atrial natriuretic peptide for postoperative myonephropathic metabolic syndrome	Sezai A, et al	心臓外科
Annals of Thoracic Surgery 2010;89:87-92	Assessment of the St. Jude Medical regent prosthetic valve by continuous-wave doppler and dobutamine stress echocardiography	Sezai A, et al	心臓外科
Journal of American Collage of Cardiology 2010;55:1844-1851	Continuous low-dose infusion of human atrial natriuretic peptide in patients with left ventricular dysfunction undergoing coronary artery bypass grafting: the NU-HIT (Nihon University working group study of low-dose Human ANP Infusion Therapy during cardi	Sezai A, et al	心臓外科
American Journal of Cardiology 2010;106:511-516	Long-term results (Three-year) of emergency coronary artery bypass grafting for patients with unstable angina pectoris	Sezai A, et al	心臓外科
Thoracic and Cardiovascular Surgeons 2010;58:314-6	Hypertrophic obstructive cardiomyopathy with Schmidt's syndrome: report of a case	Sezai A, et al	心臓外科
日大医誌 2010;69:198-202	睡眠時無呼吸症候群を合併した冠動脈バイパス術後患者に持続的気道内陽圧(CPAP)療法が奏効した症例	瀬在 明 他	心臓外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Japanese Journal of Clinical Oncology 2009;39:612-5	Cardiac angiosarcoma with cardiac tamponade diagnosed as a ruptured aneurysm of the sinus Valsalva	Yoshitake I, et al	心臓外科
Artificial Organs 2009;33:763-6	First clinical application of the DuraHeart centrifugal ventricular assist device for a Japanese patient.	Yoshitake I, et al	心臓外科
日本冠疾患学会誌 2010;16:146-150	高齢者冠動脈バイパス術後心臓リハビリテーションの検討: 病病連携による心臓リハビリテーションの実際	吉武 勇 他	心臓外科
Thoracic and Cardiovascular Surgeons 2009;57:309-314	Pulmonary embolism with myomatous erythrocytosis syndrome and extreme obesity	Unosawa S, et al	心臓外科
Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery 2010;139:918-25	Experimental investigation of direct myocardial protective effect of atrial natriuretic peptide in cardiac surgery	Wakui S, et al	心臓外科
Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery 2009;15:408-12	A case report of central extracorporeal membrane oxygenation after implantation of a left ventricular assist system: femoral vein and left atrium cannulation for ECMO	Yoda M, et al	心臓外科
Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery 2010;16:48-51	Successful management of fulminant myocarditis with left ventricular assist device: Report of a severe case	Unosawa S, et al	心臓外科
Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery 2010;16:52-54	Successful recovery using surgical intervention to treat ischemic cardiomyopathy and cardiogenic shock	Unosawa S, et al	心臓外科
Surgery Today 38, 163-168, 2008	Report of a case of an impending rupture of a celiac artery aneurysm in a patient with Behçet disease: Extra-anatomic aorto-common hepatic artery bypass.	H. Maeda	血管外科
Surgery Today 37, 445-448, 2007	Surgery for Ruptured Abdominal Aortic Aneurysm with an Aortocaval and Iliac Vein Fistula	H. Maeda	血管外科
Vasc Endovascular Surg 2007 41: 135	Large Abdominal Aortic Aneurysm with Aortocaval Fistula	H. Maeda	血管外科
Surgery Today in press	Primary infected abdominal aortic aneurysm: surgical procedures, early mortality rates, and a survey of the prevalence survey of infectious organisms over a 30-year period	H. Maeda	血管外科
Journal of Investigative Dermatology 129:1395-1401, 2009	Induction of SREBP-1c mRNA by differentiation and LXR ligand in human keratinocytes	Yokoyama A, Makishima M, Choi M, Cho Y, Nishida S, Hashimoto Y, Terui T	皮膚科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clinical Immunology 131:145-156, 2009	Aspirin and salicylates modulate IgE-mediated leukotriene secretion in mast cells through a dihydropyridine receptor-mediated Ca ²⁺ -influx	Togo K, Suzuki Y, Yoshimaru T, Inoue T, Terui T, Ochiai T, Ra C	皮膚科
Clinical and Experimental Dermatology 34:221-222, 2009	Vesicle formation in dermatomyositis associated with colon carcinoma	Mitsuya J, Hara H, Hattori A, Matsunaga A, Terui T	皮膚科
Journal of Pharmacological Sciences 110: 232-236, 2009	Analysis of the mechanism for the development of allergic skin inflammation and the application for its treatment:overview of the pathophysiology of atopic dermatitis	Terui T	皮膚科
European Journal of Dermatology 20: 220-222, 2010	Drug rash with eosinophilia and systemic symptoms (DRESS): changing carbamazepine to phenobarbital controlled epilepsy without the recurrence of DRESS	Inadomi T	皮膚科
Journal of Dermatology 37: -181, 2010	Cutaneous reactions following subcutaneous beta-interferon-1b injection	Ohata U, Hara H, Yoshitake M, Terui T	皮膚科
Journal of Investigative Dermatology 133: 725-731, 2010	Abrogation of High-Affinity IgE Receptor-Mediated Mast Cell Activation at the Effector Phase Prevents Contact Hypersensitivity to Oxazolone	Kobayashi M, Nunomura S, Gon Y, Endo D, Kishiro S, Fukunaga M, Kitahata Y, Terui T, Ra C	皮膚科
Intervirolgy; 52(2) : pp.92-99, 2009.5.	Development of a Chimeric DNA-RNA Hammerhead Ribozyme Targeting SARS Virus.	福島 晃子	消化器肝臓内科
Journal of Gastroenterology; 44(5) : pp.396-404, 2009.5.	The effect and mechanism of action of capsaicin on gastric acid output.	今武 和弘	消化器肝臓内科
Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition; 45(2) : pp.137-143, 2009.9	Expression of Intercellular Adhesion Molecule-1 in the Livers of Rats Treated with Diethylnitrosamine.	松岡 俊一	消化器肝臓内科
Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition; 45(3) : pp.292-303, 2009.11.	Zinc Supplementation Improves the Outcome of Chronic Hepatitis C and Liver Cirrhosis.	松岡 俊一	消化器肝臓内科
日本門脈圧亢進症学会雑誌 15 巻 3 号 : pp.221-226, 2009.11.	肝細胞癌合併症例における体外式造影超音波検査による下部食道粘膜造影能と内視鏡検査所見との比較検討.	西山 竜	消化器肝臓内科
日大医学雑誌 68 巻 2 号 : pp.145-149, 2009.4.	高齢者悪性幽門部狭窄に対し癌緩和医療として EMS (Expandable metallic stent) を留置し、QOL の改善、長期生存が得られた 1 例.	横山 潔	消化器肝臓内科
日大医学雑誌 68 巻 3 号 : pp.192-195, 2009.6.	脂肪腫が原因で胃切除後輸出脚に生じた腸重積の 1 例.	安倍 久子	消化器肝臓内科

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
日大医学雑誌 68 巻 3 号 : pp. 204-210, 2009. 6.	バルーン閉塞下逆行性経静脈的側副血行路塞栓術、肝動脈塞栓術、栄養学的治療などの集学的肝臓治療により良好に経過しているアルコール性肝硬変症の一例.	永井 晋太郎	消化器肝臓内科
Progress of Digestive Endoscopy 74 巻 2 号 : pp. 42-43, 2009. 6.	吐血を契機に診断された鳥肌胃炎合併若年者進行胃癌の 1 例.	安倍 久子	消化器肝臓内科
Progress of Digestive Endoscopy 74 巻 2 号 : pp. 56-57, 2009. 6.	免疫抑制剤にて改善した潰瘍性大腸炎合併胃十二指腸炎の 1 例.	好士 大介	消化器肝臓内科
Progress of Digestive Endoscopy 74 巻 2 号 : pp. 70-71, 2009. 6.	黒色食道と急性十二指腸粘膜病変を併発した 1 例.	渡辺 聡子	消化器肝臓内科
Progress of Digestive Endoscopy 74 巻 2 号 : pp. 100-101, 2009. 6.	腸閉塞を契機に診断された続発性腸結核の 1 例.	伊藤 潔	消化器肝臓内科
Minophagen Medical Review 54 巻 4 号 : pp. 254-257, 2009. 9.	診断に苦慮した肝腫瘍の一切除例.	中村 由紀	消化器肝臓内科
Progress of Digestive Endoscopy 75 巻 2 号 : pp. 68-69, 2009. 12.	Helicobacter pylori 除菌後 5 年後に再発した早期胃癌の 1 例.	大山 恭平	消化器肝臓内科
Progress of Digestive Endoscopy 75 巻 2 号 : pp. 90-91, 2009. 12.	糖尿病性ケトアシドーシスに併発した虚血性腸炎の 1 例.	中川 太一	消化器肝臓内科
本消化器がん検診学会雑誌 48 巻 2 号 : pp. 217-223, 2010. 3.	検診を契機に発見された胃 GIST の 1 例.	伊藤 潔	消化器肝臓内科
Hepatogastroenterology 56(90): 565-567, 2009	Vertical stomach reconstruction with pancreaticogastrostomy after modified subtotal-stomach-preserving pancreaticoduodenectomy for preventing delayed gastric emptying.	Oida T, Mimatsu K, Kawasaki A, Kano H, Kuboi Y, Aramaki O, Amano S	消化器外科
Hepatogastroenterology 56(91-92): 850-853, 2009	Long-term outcome of laparoscopic deroofing for symptomatic nonparasitic liver cysts.	Mimatsu K, Oida T, Kawasaki A, Kanou H, Kuboi Y, Aramaki O, Amano S	消化器外科
Surgical Laparoscopy, Endoscopy & Percutaneous Techniques 19(3): e76-e79, 2009	Laparoscopic-assisted stomach-partitioning gastrojejunostomy for the palliation of gastric outlet obstruction from antral gastric cancer.	Mimatsu K, Oida T, Kawasaki A, Kanou H, Kuboi Y, Aramaki O, Amano S	消化器外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Transplantation 87(12): 1787-1791, 2009	Prolonged survival of fully mismatched cardiac allografts and generation of regulatory cells by Sairei-to, a Japanese herbal medicine.	Zhang Q, Iwami D, Aramaki O, Yakubo S, Nishimura K, Ishige A, Watanabe K, Matsuno K, Shirasugi N, Niimi M	消化器外科
Langenbeck's archives of surgery	An analysis of risk factors for pancreatic fistula after pancreaticoduodenectomy: clinical impact of bile juice infection on day 1.	Kajiwara T, Sakamoto Y, Morofuji N, Nara S, Esaki M, Shimada K, Kosuge T	消化器外科
Surgery Today 39(1): 32-37, 2009	Roux-en-Y Reconstruction Using Staplers During Pancreaticoduodenectomy: Results of a Prospective Preliminary Study	Sakamoto Y, Kajiwara T, Esaki M, Shimada K, Nara S, Kosuge T	消化器外科
Digestive Surgery 26(2): 110-114, 2009	Long-term outcome of laparoscopic cystogastrostomy performed using a posterior approach with a stapling device.	Oida T, Mimatsu K, Kawasaki A, Kano H, Kuboi Y, Aramaki O, Amano S	消化器外科
Surgical Laparoscopy, Arthroscopy & Percutaneous Techniques 19(4): e138-e139, 2009	Arterial Stimulation and Venous Sampling (ASVS) is useful for recurrent lesions of insulinoma: a case report.	Kutsuna N, Yamazaki S, Itoh Y, Wakabayashi K, Iwama A, Watanabe Y, Haraguchi Y, Ueda T, Takayama T	消化器外科
Surgery Today 39(9): 803-806, 2009	Duodenal stenosis caused by cystic dystrophy in heterotopic pancreas: report of a case.	Yoshida N, Nakayama H, Henmi A, Suzuki T, Takayama T	消化器外科
Transplant International 22(12): 1193-1194, 2009	Use of a bridging autologous hepatic vein graft for extended right-liver transplantation	Watanabe Y, Takayama T, Yamazaki S, Aramaki O, Moriguchi M, Higaki T, Inoue K, Makuuchi M	消化器外科
日本消化器病学会雑誌 106(10): 1413-1420, 2009	大腸癌肝転移治療の新たな展開—外科的立場から	大久保貴生、高山忠利、檜垣時夫、東風 貢	消化器外科
癌と化学療法 36(8): 1247-1252, 2009	(再発大腸癌の診断と治療) 抗癌剤治療と肝切除	大久保貴生、高山忠利	消化器外科
癌と化学療法 36(11): 1885-1888, 2009	FLBP療法にてCRが得られたAFP産生胃癌の1例	高橋 亨、東風 貢、金森規朗、海賀照夫、舟田知也、藤井雅志、高山忠利	消化器外科
Frontiers in Gastroenterology 14(1): 20-25, 2009	誌上ディベート 肝細胞癌に対する生体肝移植の適応を厳密にし、成功率を高める立場から	適 渡邊慶史、高山忠利	消化器外科
手術 63(6): 903-910, 2009	【若い外科医に伝えたい私の手術手技】 肝臓の手術 肝 膈下区域切除	檜垣時夫、高山忠利	消化器外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
手術 63(7): 995-1002, 2009	【肝胆膵手術～教えるポイント・教わるポイント】 教えるポイント・教わるポイント 肝切除 (系統的、非系統的)	栗籾克己、高山忠利、檜垣時夫	消化器外科
手術 63(8): 1111-1115, 2009	【肝胆膵手術における皮膚切開・術野展開の工夫】 尾状葉の切除	中山壽之、高山忠利、大久保貴生、檜垣時夫	消化器外科
外科と代謝・栄養 43(3): 117, 2009	ICU 患者の血統管理	間崎武郎、高山忠利	消化器外科
The Nihon University Journal of Medicine 51(2): 53-58, 2009	Reconstruction by lateral pancreaticogastrostomy after pancreatoduodenectomy	Nakayama H, Takayama T, Ohkubo T	消化器外科
日本消化器外科学会雑誌 9): 1455-1459, 2009	大腸穿孔に対する治療水準の客観的評価法についての提案	間遠一成、増田英樹、間崎武郎、石井敬基、青木信彦、大亀浩久、万本潤、吉田直、高山忠利	消化器外科
肝胆膵画像 11(2): 106-107, 2009	Clinical Challenge この画像から何が読めるか? 問題: 肝腫瘍	森口正倫、高山忠利、中村正彦	消化器外科
肝胆膵画像 11(3): 356-359, 2009	Clinical Challenge この画像から何が読めるか? 前号の問題と解答: 肝腫瘍	森口正倫、高山忠利、中村正彦	消化器外科
臨床外科 64(6): 771-777, 2009	原発性肝癌外科治療における randomized controlled trial (特集 消化器癌外科治療の randomized controlled trial)	長谷川潔、高山忠利、國土典宏、幕内雅敏	消化器外科
日本臨床 67(増刊号3 肝癌): 2-596, 2009	【肝癌 基礎・臨床研究のアップデート】 肝癌の治療 免疫療法 免疫療法 (養子免疫療法)	大久保貴生、高山忠利	消化器外科
日本臨床 別冊消化管症候群 (下): 404-407, 2009	【消化管症候群 (第2版) その他の消化管疾患を含めて】 空腸、回腸、盲腸、結腸、直腸 腸閉塞 大腸癌イレウス	東風貢、高山忠利	消化器外科
肝臓 50(5): 229-237, 2009	進行性で致命的な経過をたどった特発性 Peliosis hepatis の1例	北原拓也、久保恭仁、吉澤海、安部宏、会澤亮一、松岡美佳、相澤良夫、砂川恵伸、高山忠利、幕内雅敏	消化器外科
肝胆膵画像 12(1): 17-24, 2010	肝移植の適応	荒牧修、高山忠利	消化器外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hepatogastroenterology57(97): 22-28, 2010	Risk factors for early bilirubinemia after major hepatectomy for perihilar cholangiocarcinoma with portal vein embolization.	Sakamoto Y, Shimada K, Nara S, Esaki M, Kajiwara T, Arai Y, Sano T, Yamamoto J, Kosuge T.	消化器外科
Abdominal Imaging35(1): 85-87, 2010	Characteristics of ectopic pancreas in dynamic gadolinium-enhanced MRI.	Okuhata Y, Maebayashi T, Furuhashi S, Abe K, Takahashi M, Kanamori N, Inoue K, Takayama T.	消化器外科
Cancer Science101(3): 759-766, 2010	Inhibition of MMP-9 transcription and suppression of tumor metastasis by pyrrole-imidazole polyamide.	Wang X, Nagase H, Watanabe T, Nobusue H, Suzuki T, Asami Y, Shinojima Y, Kawashima H, Takagi K, Mishra R, Igarashi J, Kimura M, Takayama T, Fukuda N, Sugiyama H.	消化器外科
Mol Cancer Ther	Insulin-like growth factor-1 receptor tyrosine kinase inhibitor cyclolignan picropodophyllin inhibits proliferation and induces apoptosis in multidrug resistant osteosarcoma cell lines.	Ryu K	整形外科
PLoS One	ZNF93 increases resistance to ET-743(Trabectedin; Yondelis)and PM00104(Zalypsis)in human cancer cell lines.	Ryu K	整形外科
日本脊椎脊髄病学会雑誌	Vertebral fracture after posterior fusion with pedicle screw fixation for degenerative lumber disease.	Tokuhashi Y	整形外科
Photomed Laser Surg	Bactericidal effect of photodynamic therapy using Na-phenolphthalein: evaluation of adequate light source.	Yamamoto T	整形外科
Orthopedics	Evaluation of biomechanical and histological features following vertebroplasty using hydroxyapatite blocks.	Oshima M	整形外科
Orthopedics	Impact of passive smoking on the bones of rats.	Ajiro Y	整形外科
東日本整形災害外科学会雑誌	頰椎黄色靭帯石灰化症の治療経験—臨床像と石灰化成分について—	大島 正史	整形外科
Orthopedics	One-versus two-stage bilateral total hip arthroplasty	Saito S	整形外科
Orthopedics	Long-term results of Metasul metal-on-metal total hip arthroplasty	Saito S	整形外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Atherosclerosis and Thrombosis 16(3):201-206, 2009	Association of SLC6A9 gene variants with human essential hypertension.	中山智祥	臨床検査医学科
臨床化学 38(3): 299-307, 2009	抗ミトコンドリアCK活性阻害抗体を用いた新規CK-MB活性測定法の臨床評価。	中山智祥	臨床検査医学科
Medical Science Monitor 15(8):CR389-397, 2009	Relationship between Haplotypes of the KCNN4 Gene and Susceptibility to Human Vascular Diseases in Japanese.	中山智祥	臨床検査医学科
Endocrine Journal 56(8):921-934, 2009	Comparison between essential hypertension and pregnancy-induced hypertension: a genetic perspective.	中山智祥	臨床検査医学科
Clinical Biochemistry 15):1493-1499, 2009	Haplotype-Based Case-Control Study Between Human Aprinic/apyrmidinic Endonuclease 1/Redox Effector Factor-1 Gene and Cerebral Infarction.	中山智祥	臨床検査医学科
高血圧(上)【第4版】-日本における最新の研究動向。日本臨床 67巻増刊号6: pp427-431, 2009	CRLR (Calcitonin-Receptor-like Receptor) 遺伝子	中山智祥	臨床検査医学科
Hypertension Research 32(11):989-96, 2009. 11	Purinergic receptor P2Y ₂ , G-protein coupled, 2 (P2RY2) gene is associated with cerebral infarction in Japanese subjects.	中山智祥	臨床検査医学科
Circulation Journal 73(12):2322-2329, 2009	Association of the purinergic receptor P2Y ₂ , G-protein coupled, 2 (P2RY2) gene with myocardial infarction in Japanese men.	中山智祥	臨床検査医学科
American Journal of Hypertension 23(2):186-191, 2010	Haplotype-Based Case-Control Study on Human Aprinic/apyrmidinic Endonuclease1/Redox Effector Factor-1 Gene and Essential Hypertension.	中山智祥	臨床検査医学科
臨床病理 58(2):156-161, 2010	ギテルマン症候群の遺伝学的検査体制の構築	中山智祥	臨床検査医学科
International Angiology suppl. 1 to No. 2: 33-42, 2010	Genetic polymorphisms of prostacyclin synthase gene and cardiovascular disease.	中山智祥	臨床検査医学科
臨床化学 39(2): 162-165, 2010	セルロースアセテート膜電気泳動における高分子小腸型ALPアイソザイムの検討。	中山智祥	臨床検査医学科
Journal of Human Hypertension 24(5):327-335, 2010. 5	The purinergic receptor P2Y ₂ , G-protein coupled, 2 (P2RY2) gene associated with essential hypertension in Japanese men.	中山智祥	臨床検査医学科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Human Hypertension 24(5):351-358, 2010.5	Haplotype-based case-control study of receptor (calcitonin) activity modifying protein (RAMP) 1 gene in Cerebral Infarction.	中山智祥	臨床検査医学科
American Journal of Hypertension 23(5):547-555, 2010	Association study of the elastin microfibril interfacer 1 (EMILIN1) gene in essential hypertension.	中山智祥	臨床検査医学科
European Journal of Endocrinology 163(4):671-680, 2010	Association of HSD3B1 and HSD3B2 gene polymorphisms with essential hypertension, aldosterone level and left ventricular structure.	中山智祥	臨床検査医学科
Cardiovascular Diabetology 9:38, 2010	Effect of candesartan monotherapy on lipid metabolism in patients with hypertension: a retrospective longitudinal survey using data from electronic medical records.	中山智祥	臨床検査医学科
Hereditas 2009. in press	The haplotype of the CACNA1B gene associated with cerebral infarction in Japanese.	中山智祥	臨床検査医学科
Hereditas 2010. in press	Association of the Insulin-like growth factor-1 gene with myocardial infarction in Japanese subjects.	中山智祥	臨床検査医学科
Hypertension 2010 in press	Common variants in the ATP2B1 gene are associated with susceptibility to hypertension: The Japanese Millennium Genome Project.	中山智祥	臨床検査医学科
Mediators of Inflammation. 2010 in press	Inflammation, a link between obesity and cardiovascular disease.	中山智祥	臨床検査医学科
Therapeutic Apheresis and Analysis 14(3): 373-376, 2010	Peritonitis associated with Pasteurella multocida: Molecular evidence of zoonotic etiology.	里村厚司	臨床検査医学科
European journal of clinical investigation 2010 in press	Relationship between oligomer and functional serum mannose-binding lectin in chronic renal failure.	里村厚司	臨床検査医学科
Invest Radiol 44 : 503-508; 2009.	Dynamic contrast-enhanced perfusion MR imaging with SPIO: a pilot study.	阿部 修	放射線科
Magn Reson Imaging 27 : 347-354; 2009.	Diffusion abnormality in the posterior cingulum and hippocampal volume: correlation with disease progression in Alzheimer's disease.	阿部 修	放射線科
Psychiatry Res 174 : 210-216; 2009	Smaller amygdala volume and reduced anterior cingulate gray matter density associated with history of post-traumatic stress disorder.	阿部 修	放射線科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neuroimage 46 : 505-510; 2009	Structural and diffusional brain abnormality related to relatively low level alcohol consumption.	阿部 修	放射線科
Schizophr Res 114 : 119-127; 2009	Structural disruption of the dorsal cingulum bundle is associated with impaired Stroop performance in patients with schizophrenia.	阿部 修	放射線科
J Neurosci 29 : 10335-10340; 2009	Formation of long-term memory representation in human temporal cortex related to pictorial paired associates.	阿部 修	放射線科
Neuroradiology 51 : 831-840; 2009	Tract-specific analysis of white matter pathways in healthy subjects: a pilot study using diffusion tensor MRI.	阿部 修	放射線科
Journal of Digital Imaging 22:598-604, 2009.	A Filmless Radiology Teaching Conference System for Pertinent Displaying and Image Searching.	阿部 克己	放射線科
Journal of Digital Imaging 22:689-695, 2009.	A Computer-Assisted System for Diagnostic Workstations: Automated Bone Labeling for CT Images.	阿部 克己	放射線科
Journal of Digital Imaging [Epub ahead of print] 2009	Data Management Solution for Large-Volume Computed Tomography in an Existing Picture Archiving and Communication System (PACS)	阿部 克己	放射線科
Nephrology 14: 263, 2009	Inguinal bladder hernia: multi-planar reformation and 3-D reconstruction computed tomography images useful for diagnosis.	阿部 克己	放射線科
Journal of Nuclear Medicine 23: 697-699, 2009	Adverse allergic reaction to 131I MIBG.	阿部 克己	放射線科
Neurosurgery Quarterly 19: 295-297, 2009	Pilomxoid Astrocytoma Difficult to Differentiate from Pilocytic Astrocytoma even with Typical MRI Findings: Case Report.	阿部 克己	放射線科
ペインクリニック 30:43-50, 2009	特集 痛み診療に用いる検査機器 骨核医学 診断と治療.	阿部 克己	放射線科
画像診断 25 : 308-310, 2009	CT・MRI の読影に必要な局所解剖 大動脈肺動脈窓	阿部 克己	放射線科
INNERVISION 24: 64-66, 2009	ソナゾイドによるルーチン造影超音波検査 無床クリニックでの肝臓専門医の役割	阿部 克己	放射線科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日大医学雑誌 68: 151-152; 2009	放射線医学の最近の進歩 最近のCTの進歩	阿部 克己	放射線科
日大医学雑誌 68: 313-314; 2009	逸見明博: 肺硬化性血管腫の18F-FDG-PET.	阿部 克己	放射線科
Neuroradiology 52: 699-710; 2010	Voxel-based analysis of the diffusion tensor.	阿部 修	放射線科
Psychiatry Res 181: 64-70; 2010	Voxel-based analyses of gray/white matter volume and diffusion tensor data in major depression.	阿部 修	放射線科
Biomed 23: 446-458; 2010	Sex dimorphism in gray/white matter volume and diffusion tensor during normal aging.	阿部 修	放射線科
Neuroradiology 52: 865-873; 2010	Age-related changes in regional brain volume evaluated by atlas-based method.	阿部 修	放射線科
Magn Reson Imaging 28: 594-598; 2010	Three-dimensional susceptibility-weighted imaging at 3T using various image analysis methods in the estimation of grading intracranial gliomas.	阿部 修	放射線科
Clin Imaging 34: 332-336; 2010	High signal intensity in the dural sinuses on 3D-TOF MR angiography at 3.0 T.	阿部 修	放射線科
J Biol Psychiatry 2010	Association Between the Oxytocin Receptor Gene and Amygdalar Volume in Healthy Adults.	阿部 修	放射線科
Genes Brain Behav 9: 269-275; 2010	Functional (GT)n polymorphisms in promoter region of N-methyl-d-aspartate receptor 2A subunit (GRIN2A) gene affect hippocampal and amygdala volumes.	阿部 修	放射線科
Brain Res 1331: 51-57; 2010	Effect of tryptophan hydroxylase-2 gene variants on amygdalar and hippocampal volumes.	阿部 修	放射線科
Neuroimage 49: 3474-3480; 2010	Differential temporo-parietal cortical networks that support relational and item-based recency judgments.	阿部 修	放射線科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neurosurgery 67 : 100-109; discussion 109; 2010	Contrast-enhanced magnetic resonance characteristics of arteriovenous malformations after gamma knife radiosurgery: predictors of post-angiographic obliteration hemorrhage.	阿部 修	放射線科
Schizophr Res 116 : 196-203; 2010	Gray and white matter volumetric and diffusion tensor imaging (DTI) analyses in the early stage of first-episode schizophrenia.	阿部 修	放射線科
Neuroradiology 2010	Diffusion tensor tract-specific analysis of the uncinate fasciculus in patients with amyotrophic lateral sclerosis.	阿部 修	放射線科
Eur Arch Psychiatry Clin Neurosci 260 : 465-473; 2010	Reduced gray matter volume of Brodmann's Area 45 is associated with severe psychotic symptoms in patients with schizophrenia.	阿部 修	放射線科
J Magn Reson Imaging 32 : 487-492; 2010	Effects of gradient non-linearity correction and intensity non-uniformity correction in longitudinal studies using structural image evaluation using normalization of atrophy (SIENA).	阿部 修	放射線科
Neuroradiology 52 : 691-698; 2010	Computational analysis of cerebral cortex.	阿部 修	放射線科
J Magn Reson Imaging 31 : 221-226; 2010	Cerebral asymmetry in patients with schizophrenia: A voxel-based morphometry (VBM) and diffusion tensor imaging (DTI) study.	阿部 修	放射線科
Magn Reson Imaging 28 : 65-69; 2010	Aging effects on cerebral asymmetry: a voxel-based morphometry and diffusion tensor imaging study.	阿部 修	放射線科
J Psychiatry 2010	Reduced Gray Matter Volume of Pars Opercularis Is Associated with Impaired Social Communication in High-Functioning Autism Spectrum Disorders.	阿部 修	放射線科
Jpn J Radiol 28 : 27-33; 2010	Motion-robust diffusion tensor acquisition at routine 3T magnetic resonance imaging.	阿部 修	放射線科
Abdominal Imaging 35: 481-484; 2010	Primary leiomyosarcoma of the inferior vena cava: case report.	阿部 克己	放射線科
Medical Oncology 27: 1027-1030; 2010	Radiological assessment following thermoradiation therapy for primary pleural synovial sarcoma: case report.	阿部 克己	放射線科
Surgery Today [Accepted] 2010	Abdominal Wall Invasion from an Isolated Tuberculous Liver Abscess: Report of a Case.	阿部 克己	放射線科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Medical Tribune 43:13:33, 2010	新型インフルエンザ肺炎～無気肺と縦隔気腫が小児で高頻度	阿部 克己	放射線科
Rinsho Byori. 2010 Aug;58(8):786-91. Japanese. PubMed PMID: 20860171.	An autopsy case of corticosteroid-induced invasive pulmonary aspergillosis with cavity-formation].	Sunagawa K, Henmi A, Nishikawa E, Iriyama N, Yamada T, Nemoto N.	病理診断科
Hepatol. 2010 May;25 Suppl 1:S62-6. PubMed PMID: 20586868.	Efficacy of antibiotic combination therapy in patients with active ulcerative colitis, including refractory or steroid-dependent cases. J Gastroenterol	Uehara T, Kato K, Ohkusa T, Sugitani M, Ishii Y, Nemoto N, Moriyama M.	病理診断科
Histopathology. 2010 Feb;56(3):372-83. PubMed PMID: 20459537.	Differential diagnosis of trichosporonosis using conventional histopathological stains and electron microscopy.	Obana Y, Sano M, Jike T, Homma T, Nemoto N.	病理診断科
J Obstet Gynaecol Res. 2010 Feb;36(1):204-8. PubMed PMID: 20178553.	Paraortic paraganglioma arising in an ovarian carcinoma patient mimicking lymph node metastasis.	Chishima F, Tamura M, Nakazawa T, Sugitani M, Hirano D, Yoshikawa T, Fuchinoue F, Nemoto N, Yamamoto T.	病理診断科
Med Mol Morphol. 2009 Sep;42(3):180-4. Epub 2009 Sep 26. PubMed PMID: 19784746.	Extraskeletal myxoid chondrosarcoma: a study using a quick-freezing and deep-etching method.	Henmi A, Osaka S, Sunagawa K, Kikuchi K, Ohno N, Terada N, Fujii Y, Ohno S, Nemoto N.	病理診断科
2009 Jun 27;42(3):83-8. Epub 2009 May 20. PubMed PMID: 19617955; PubMed Central PMCID: PMC2711395.	Two cases of primary malignant fibrous histiocytoma of the liver: immunohistochemical expression of ezrin and its relationship with prognosis. Acta Histochem Cytochem.	Sugitani M, Aramaki O, Kikuchi K, Sheikh A, Oinuma T, Mamiya T, Takayama T, Nemoto N.	病理診断科
2009 Jun 27;42(3):73-81. Epub 2009 May 29. PubMed PMID: 19617954; PubMed Central PMCID: PMC2711394.	Significance of system L amino acid transporter 1 (LAT-1) and 4F2 heavy chain (4F2hc) expression in human developing intestines. Acta Histochem Cytochem.	Ohno C, Nakanishi Y, Honma T, Henmi A, Sugitani M, Kanai Y, Nemoto N.	病理診断科
2009 Jun;51(2):283-7. PubMed PMID: 19550098.	The significance of podoplanin expression in human inflamed gingiva. J Oral Sci.	Miyazaki Y, Okamoto E, González-Alva P, Hayashi J, Ishige T, Kikuchi K, Nemoto	病理診断科
2010 Sep;212(1):116-22. Epub 2010 Jun 1. PubMed PMID: 20598695.	Effect of endothelial cell proliferation on atherogenesis: a role of p21(Sdi/Cip/Waf1) in monocyte adhesion to endothelial cells. Atherosclerosis.	Obikane H, Abiko Y, Ueno H, Kusumi Y, Esumi M, Mitsumata M.	病理診断科
2010 Feb;17(1):84-96. Epub 2010 Jan 18. PubMed PMID: 20081322.	Appropriate doses of granulocyte-colony stimulating factor reduced atherosclerotic plaque formation and increased plaque stability in cholesterol-fed rabbits. J Atheroscler Thromb.	Matsumoto T, Watanabe H, Ueno T, Tsunemi A, Hatano B, Kusumi Y, Mitsumata M, Fukuda N, Matsumoto K, Saito S, Mugishima H.	病理診断科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
2009 Nov;47(5):565-75. Epub 2009 Aug 15. PubMed PMID: 19686758.	Dedifferentiated fat cells convert to cardiomyocyte phenotype and repair infarcted cardiac tissue in rats. J Mol Cell Cardiol.	Junabay M, Matsumoto T, Yokoyama S, Kano K, Kusumi Y, Masuko T, Mitsumata M, Saito S, Hirayama A, Mugishima H, Fukuda N.	病理診断科
Epub 2009 Aug 11. PubMed PMID: 19672030.	Association of serum oxidized lipoprotein(a) concentration with coronary artery disease: potential role of oxidized lipoprotein(a) in the vasculature wall. J Atheroscler Thromb. 2009 Aug;16(4):410-8.	Morishita R, Ishii J, Kusumi Y, Yamada S, Komai N, Ohishi M, Nomura M, Hishida H, Niihashi M, Mitsumata M.	病理診断科
2010 Jun 25;142(1):56-64. Epub 2009 Jan 24. PubMed PMID: 19167769.	Low invasive angiogenic therapy for myocardial infarction by retrograde transplantation of mononuclear cells expressing the VEGF gene. Int J Cardiol.	Hagikura K, Fukuda N, Yokoyama S, Yuxin L, Kusumi Y, Matsumoto T, Ikeda Y, Kunimoto S, Takayama T, Junabay M, Mitsumata M, Saito S, Hirayama A, Mugishima H.	病理診断科
大医学雑誌(0029-0424)68巻4号 Page247-251(2009.08) 論文 種類: 原著論文/症例報告	2010014450 臍局所解剖で明らかになった Nesidioblastosis の1例	大荷澄江(日本大学 医学部病態病理学系病理学分野), 生沼利倫, 杉谷雅彦, 知念詩乃, 藤田英寿, 金丸浩, 牧本優美, 細野茂春, 鮎沢衛, 浦上達彦, 湊通嘉, 岡田知雄, 麦島秀雄, 根本則道	病理診断科
病理と臨床(0287-3745)27巻臨増 Page329-336(2009.04) 論文種 類: 解説/特集	2009210134 【病理学と社会】 社会における病理学<基盤> 記述研究 剖検報	根本則道(日本大学 医学部病態病理学系病理学分野), 楠美嘉晃, 村上朱美, 生沼利倫, 藤原恵	病理診断科
J Obstet Gynaecol Res. 2010 Feb;36(1):204-8	Para-aortic paraganglioma arising in an ovarian carcinoma patient mimicking lymph node metastasis.	Chishima F, Tamura M, Nakazawa T, Sugitani M, Hirano D, Yoshikawa T, Fuchinoue F, Nemoto N, Yamamoto T.	産婦人科
Endocr J. 2009;56(8):921-34. Epub 2009 Oct 23. Review.	Comparison between essential hypertension and pregnancy-induced hypertension: a genetic perspective.	Nakayama T, Yamamoto T	産婦人科
J Matern Fetal Neonatal Med. 2009 Jul 23:1-8	Changes of expression of glucose transporters in the fetal lamb brain after MCI-186 administration to the maternal circulation with 10-min persistent umbilical cord occlusion.	Watanabe M, Masaoka N, Nakajima Y, Nagaishi M, Yamamoto T.	産婦人科
子宮疾患・子宮内臓症の臨床—基礎・臨床研究のアップデート—、 日本臨床、67巻増刊号5、 pp113-115, 2009	子宮萎縮、	千島史尚、中澤禎子、三留ゆりさ、山本樹生	産婦人科
緩和ケア、20巻3号、247-241、 2010	婦人科がんで難渋する症状に対応する—腫瘍からの出血、瘻孔の処置—、	梶田賢司、高田眞一、千島史尚、山本樹生、木下優子、白土辰子、村上正人、前林俊也	産婦人科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
周産期医学、40 巻、7 号、pp1105-1109, 2010	妊娠高血圧症候群と胎盤、	山本樹生、千島史尚、宮川康司、村瀬隆之、市川 剛、青木洋一、浅沼亜紀、	産婦人科
International Journal of Cardiology vol(132) e54-6 2009	Double left anterior descending artery arising from the left and right coronary arteries: depiction at multidetector-row computed tomography	Satoshi Kunimoto Yuichi Sato	循環器内科
Circ J. Vol (73) P580-583 2009	Action potential alternans in the right ventricular outflow tract in a patient with asymptomatic Brugada syndrome.	Masayoshi Kofune Ichiro Watanabe	循環器内科
Int Heart J Vol(50) P365-376 2009	Use of a novel irrigated balloon catheter to generate continuous right atrial lesions by radiofrequency ablation.	Ichiro Watanabe Nuo Min	循環器内科
Europace Vol(11) P834-835	Implantation of a pacemaker in a patient with severe Parkinson's disease and a pre-existing bilateral deep brain stimulator.	Sonoko Ashino Ichiro Watanabe	循環器内科
Int Heart J Vol(50) P477-487 2009	Surface ECG characteristics of ventricular tachycardia before degeneration into ventricular fibrillation in patients with Brugada-type ECG.	Kimie Ohkubo Ichiro Watanabe	循環器内科
Circ J Vol(70) P1619-1626 2009	Comparison of endocardial and epicardial lesion size following large-tip and extra-large-tip transcatheter cryoablation.	Kenichi Hashimoto Ichiro Watanabe	循環器内科
J Interv Card Electrophysiol Vol(26) P181-184 2009	Left bundle branch block-type ventricular tachycardia originating from the left ventricular septum in a patient with cardiac sarcoidosis.	Yasuo Okumura Ichiro Watanabe	循環器内科
Circ J. Vol(73) P718-725	Qualitative and quantitative changes in coronary plaque associated with atorvastatin therapy.	Hirayama Atsushi	循環器内科
Circulation Journal Vol(73) P2110-17 2009	Effect of rosuvastatin on coronary atheroma in stable coronary artery disease: multicenter coronary atherosclerosis study measuring effects of rosuvastatin using intravascular ultrasound in Japanese subjects (COSMOS).	Tadateru Takayama Satoshi Saito	循環器内科
アルコールと医学生物学 28 : 652-65 , 2009	アルコール摂取と脳梗塞についての検討	小川 克彦 他	神経内科
Neuropathology 30: 15-23, 2010	Pathological study pseudohypertrophy of the inferior olivary nucleus.	Ogawa K, et al	神経内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
International Journal of Neuroscience 120:368-371, 2010	Current perception threshold of Subacute Myelo-Optico-Neuropathy.	Suzuki Y, et al	神経内科
Ceska a Stovenska Neurologie a Neurchirurgie 106: 187-189, 2010	Recover of decreased cerebral flow in wernicke's encephalopathy following abstinence from alcohol.	Suzuki Y, et al	神経内科
Alcohol 44: 439-445, 2010	Atrophy of the parahippocampal gyrus and regional cerebral blood flow in the patients	Suzuki Y, et al	神経内科
J Clin Neurophysiol 26:426-429, 2009	The relationship between slowing EEGs and progression of Parkinson's disease.	Morita A, et al	神経内科
Internal Medicine 49: -864, 2010	Clinical study of the responsible lesion for dysarthria in the cerebellum.	Ogawa K, et al	神経内科
J Neuropsthol Exp Neurol 1029-1036, 2009	Selective deposition of 4-repeat tau in cerebral infarcts.	Ichihara K, et al	神経内科
J Clin Neurophysiol 27: 193-197, 2010	Quantitative EEG analysis of executive dysfunction in infarcts.	Kamei S, et al	神経内科
Internal Medicine 48: 975-980, 2009	Relationships between quantitative-electroencephalographic alterations and severity of hepatitis C based on liver biopsy in interferon- α treated patients.	Kamei S, et al	神経内科
Cytokine 46: 187-193, 2009	Prognostic value of cerebrospinal fluid cytokine changes in herpes simplex virus encephalitis.	Kamei S, et al	神経内科
Internal Medicine 48: 673-679, 2009	Nationwide survey of acute juvenile female non-herpetic encephalitis in japan -relationship to anti-N-Methy-D-Aspartate receptor encephalitis.	Kamei S, et al	神経内科
Internal Medicine 48: 295-300, 2009	Hospital-based study of prognostic factors in adult patients with acute community-acquired bacterial meningitis in tokyo, japan	Ishihara M, et al	神経内科
Internal Medicine 48: 89-94, 2009	Predictors of prolonged clinical course in adult patients with herpes simplex virus encephalitis.	Taira N, et al	神経内科
日大医学雑誌 69 (4月号) 198-202, 2010	動脈バイパス術後患者に持続的気道内陽圧 (CAPA) 療法が著効した症例	瀬在 明, 赤柴 恒人, 他	睡眠センター

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
呼吸器内科 17 (6月号) 511-515, 2010	【生活習慣と呼吸器疾患】 睡眠時無呼吸症候群と体型	赤柴 恒人	睡眠センター
日本胸部臨床 69 (7月号) 577-583, 2010	【睡眠時無呼吸症候群の最新の話】 睡眠時無呼吸症候群の定義・診断基準と疫学	赤柴 恒人	睡眠センター
成人病と生活習慣病 40 (4月号) 390-394, 2010	【睡眠と生活習慣病】 睡眠時無呼吸症候群	赤柴 恒人	睡眠センター
日本医師会雑誌 138 (6月号) 2522, 2010	【COPDの診療 update】 COPDと無呼吸症候群	赤柴 恒人	睡眠センター
Arterioscler Thromb.	Association of SLC6A9 gene variants with human essential hypertension.	Ueno T, Soma M, 他	総合科 (内科担当)
Med Sci Monit	Influence of genetic polymorphisms in oxidative stress-related genes and smoking on plasma MDA-LDL, soluble CD40 ligand, E-selectin and soluble ICAM1 levels in patients with coronary disease.	Ueno T, Soma M, 他	総合科 (内科担当)
Clin Biochem.	Haplotype-based case-control study between human apurinic/aprimidinic endonuclease 1/redox effector factor-1 gene and cerebral infarction.	Naganuma T, Soma M, 他	総合科 (内科担当)
Med Sci Monit.	Relationship between haplotypes of KCNN4 gene and susceptibility to human vascular diseases in Japanese.	Ymaguchi M, Soma, 他	総合科 (内科担当)
Hypertens Res.	Purinergic receptor P2Y ₂ , G-protein coupled, 2 (P2RY2) gene is associated with cerebral infarction in Japanese subjects.	Wang Z, Soma M, 他	総合科 (内科担当)
Circ J.	Association of the purinergic receptor P2Y ₂ , G-protein coupled, 2 (P2RY2) gene with myocardial infarction in Japanese Men.	Wang Z, Soma M, 他	総合科 (内科担当)
Am J Hypertens.	Haplotype-Based Case-Control Study on Human Aprinic/aprimidinic Endonuclease1/Redox Effector Factor-1 Gene and Essential Hypertension.	Naganuma T, Soma M, 他	総合科 (内科担当)
日本臨床検査医学会誌	ギテルマン症候群の遺伝学的検査体制の構築	中山 智祥, 相馬 正義 他	総合科 (内科担当)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
American Journal of Clinical Pathology132: 18-25, 2009	Impact of reporting gram stain results from blood culture bottles on the selection of antimicrobial agents.	Mituru YNAI	総合科 (内科担当)
Medical Technology37: 548-550, 2009	腎疾患における検査の役割	矢内 充	総合科 (内科担当)
Int Immunopharmacol. 2010 Mar;10(3):277-83.	High affinity receptor for IgE stimulation activates protein Kinase D augmenting activator protein-1 activity for cytokine producing in mast cells.	権 寧博	総合科 (内科担当)
J Allergy Clin Immunol. 2009 Nov;124(5):931-20. e1-7.	Tissue remodeling induced by hypersecreted epidermal growthfactor and amphiregulin in the airway sfter an acute asthma attack.	岡山 吉道, 権 寧博 他	総合科 (内科担当)
Archives Disease of Childhood:Fetal and Neonatal Edition94:F328-31, 2009	Blood pressure and output during the first 120H of life in infants born at less than 29 week' s gestation related to umbilical cord milking.	Shigeharu Hosono	小児科
Biology of blood and marrow transplantation15:1603-8, 2009	Tacrolimus/Methotrexate versus cyclosporine/methotrexate as graft-versus-host disease prophylaxis in patients with severe aplastic anemia who received bone marrow transplantation from unrelated donors:results of matched pair analysis.	Hiroshi Yasaki	小児科
Brain & Development31:475-477, 2009	Founders of child neurology in Japan-Kazuo Baba.	Yukihiko Fujita	小児科
Clinica Chimica Acta401:141-3, 2009	Concentrations of very long-chain fatty acid in whole blood are associated with cardiovascular risk factors in children.	Aya Okahashi	小児科
International Journal of Cardioloy135: e1-3, 2009	Dual myocardial scintigraphy mismatch in an infant with Brand-White-Garland syndrome.	Hiroshi Knamaru	小児科
International Journal of Cardiology:in press, 2009	MDCT of the anomalous origin of the right coronary artery from the left sinus of Valsalva associated with bicuspid aortic valve/	Mamoru Ayusawa	小児科
Japanese Journal of Infectious Diseases62:279-283, 2009	Detection of rotavirus RNA and antigens in serum and cerebral spinal fluid samples furcm diarrheic children with seizures.	Mamoru Ayusawa	小児科
Japanese Journal of Infectious Diseases62:464-466, 2009	Trial of influenza HA vaccination for healthcare workers in consecutive years	Yukihiro Fujita	小児科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Atherosclerosis and thrombosis16:121-6, 2009	Apolipoprotein A-V is a Potent Modulator OF HDL and VLDL Components in Preadolescent Children.	Yuriko Abe	小児科
Journal of Cardiovascular Electrophysiology20:818-821, 2009	Decremental accessory pathway conduction after ablation and antidromic atrio-ventricular reciprocating tachycardia 8 years after successful radiofrequency ablation.	Nokata Sunitomo	小児科
Journal of Perinatal Medicine37:79-84, 2009	A role of end-tidal CO2 monitoring for assessment of tracheal intubations in ver low bith weight infants during neonatal resuscitation at birth.	Shigeharu Hosono	小児科
Metabolism:clinical and experimental58:704-707, 2009	Very low density lipoprotein in the cord blood of preterm neonates.	Ryuta Yonezawa	小児科
Pediatrics International151:79-83, 2009	Developmental outcomes in persistent pulmonary hypertension treated with nitic oxide therapy.	Shigeharu Hosono	小児科
Acta Paediatrica99:1213-1217, 2010	Impact of leptin and leptin-receptor gene polymorphisms on serum lipids in Japanese obese children.	Tomoo Okada	小児科
Bone Marrow Transplantation :in press, 2010	Comparison of matched-sibling donor BMT and unrelated donor BMT in children and adolescent with acquired severe aplastic anemia.	Hiroshi Ygasaki	小児科
Brain & Development:in press, 2010	Improvement of intractable childhood epilepsy following acute viral infection.	Yukihiro Fujita	小児科
British Journal of Haematology149:911-2, 2010	Successful treatment of disseminated intravascular coarulation in a child with acute myelogenous leukemia using recombinant thrombomodulin.	Erika Ogawa	小児科
Circulation Journal74:in press, 2010	Correction of QT interval in children.	Naokata Sunitomo	小児科
European Journal of Clinical Nutrition64:447-453, 2010	Association between serum lipoprotein lipase mass concentration and subcutaneous fat accumulation during neonatal period.	Kayo Yosshikawa	小児科
Hart and Vessels25:in press, 2010	Clinical effectiveness of pulmonary vein isolation for arrhythmic events in a patient with catecholaminergic polymorphic ventricular tachycardia.	Naokata Sunitomo	小児科
Japanese Journal of Infectious Diseases63:83-86, 2010	Rotavirus antigenemia and genomia in children with rotavirus gastroenteritis.	Yukihiro Fujita	小児科

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
Journal of American Society of Echocardiography 23: in press, 2010	Quantitative evaluation of coronary artery wall echogenicity by integrated backscatter analysis in Kawasaki disease.	Osamu Abe	小児科
Pediatr Neurol 42: 287-290, 2010	Fanconi syndrome caused by valproic acid: Two case reports.	Ayumi Endo	小児科
Brain & Development: in press	A case of D-lactic acid encephalopathy associated with use of probiotics.	Shun Munakata	小児科
子どもの心とからだ (0918-5526) 19巻1号: 70-75	描画による疼痛表現法の試み	瀧上 達夫	小児科
子どもの心とからだ (0918-5526) 19巻1号: 59-64	過剰水分摂取により無熱性痙攣を来した水中毒の1幼児例	瀧上 達夫	小児科
小児がん (0389-4525) 47巻2号: 316-319	局所遅延療法を施行した診断時肺転移陽性骨肉腫の1例	平井 麻衣子	小児科
日本周産期・新生児医学会雑誌 (1348-964X) 46巻1号: 115-118	長期経口栄養摂取不良母体から出生した重度の出血傾向を呈したビタミンK欠乏性出血症の低出生体重児の一例	小高 美奈子	小児科
日大医学雑誌 (0029-0424) 68巻6号: 339-342	Kasabach-Merritt 症候群	七野 浩之	小児科
日大医学雑誌 (0029-0424) 68巻6号: 211-214	Posterior Reversible Encephalopathy Syndrome を合併した最重症型再生不良貧血の1幼児例	遠藤 あゆみ	小児科
日本周産期・新生児医学会雑誌 (1348-964X) 45巻3号: 899-904	CPAM 分類が有用であった congenital pulmonary airway malformation Type 1 の極低出生体重児例	岡橋 彩	小児科
日本小児腎不全学会雑誌 (1341-587) 28巻: 211-213	アルブミンの補充が原因と考えられるじん不全を呈した極低出生体重児の1例	米沢 龍太	小児科
心臓 (0586-4488) 41巻 Suppl. 4: 43-50	洞性頻脈と鑑別が困難であった心房頻拍により頻拍誘発性心筋症をきたした1小児例	市川 理恵	小児科
日本小児放射線学会氏雑誌 (1341-5875) 25巻2号: 126-130	重症心身障害児にみられる脳腫瘍の1例 脳腫瘍を見逃さないために	石井 和嘉子	小児科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日大医学雑誌 (0029-0424) 68巻 1号: 11-15	低分子量ヘパリン薬 (デルテパリン) を併用した川崎病治療法開発の予備的検討	稲毛 康司	小児科
日本小児外科学会誌, 第45巻第1号, p77-83, 2009	2年9ヶ月の無治療経過観察を経て腫瘍摘出術を施行したマウスクリーニング発見ganglioneuroblastoma, intaermixedの一例	井上 幹也	小児外科
Stem Cells Dev, 第18巻第1号, 113-125, 2009	Mouse Embryonic Stem Cells Give Rise to Gut-Like Morphogenesis, Including Intestinal Stem Cells, in the Embryoid Body Model.	小沼 憲祥	小児外科
小児外科, 第41巻第4号, 397-400, 2009	直腸肛門奇形の anovestibular fistula と rectovestibular fistula.	池田 太郎	小児外科
小児がん, 第46巻第2号, p162-168, 2009	横紋筋肉腫の外科治療について.	草深 竹志	小児外科
小児外科, 第41巻第10号, 1118-1123, 2009	腎腫瘍-腎芽腫と腎細胞癌	杉藤 公信	小児外科
J Mol Cell Cardiol., 47 (5) 565-575,	Dedifferentiated fat cells convert to cardiomyocyte phenotype and repair infarcted cardiac tissue in rats.	益子 貴行	小児外科
周産期医学, 第39巻, 530-531, 2009	周産期相談 318 お母さんへの回答マニュアル214 陰茎が小さいようで心配です.	池田 太郎	小児外科
産科医学, 第39巻, 532-534, 2009	周産期相談 318 お母さんへの回答マニュアル215 おちんちんの袋が片方大きいようですが?.	池田 太郎	小児外科
周産期医学, 第39巻, 537-539, 2009	周産期相談 318 お母さんへの回答マニュアル217 睾丸が袋の中に下りていないようですが?.	池田 太郎	小児外科
周産期医学, 第39巻, 540-541, 2009	周産期相談 318 お母さんへの回答マニュアル218 おちんちんが皮をかぶっていますが?.	池田 太郎	小児外科
周産期医学, 第39巻, 548-549, 2009	周産期相談 318 肛門の前 (周囲) にいぼみみたいなものがあるのですが?.	池田 太郎	小児外科
小児がん, 第46巻第3号, 349-358, 2009	日本ウィルムス腫瘍スタディグループ-1 (JWITS-1) 登録症例の追跡調査報告.	越永 従道	小児外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pediatric Surgery International, 第 25 巻, 923-929, 2009	Outcome of pediatric renal tumor treated using the Japan Wilms Tumor Study-1 (JWiTS-1) protocol: a report from the JWiTS Group	越永 従道	小児外科
Hepato-Gastroenterology, 56, 154-157	Studies on pidental nerve terminal motor latency in patients after ileal J-pouch-anal anastomosis for ulcerative colitis and adenomatous coli in childhood.	越永 従道	小児外科
Pediatric Transplant, Feb28, 2010 [Epub ahead of print]	Effect of combined treatment with FK506, FTY720, and ex vivo graft irradiation in rat small bowel transplantation: Expression of mucosal addressin cell adhesion molecule-1.	杉藤 公信	小児外科
J Clin Sleep Med 5:464-9, 2009	Non-pharmacological self-management of sleep among the Japanese general population.	Aritake-Okada S, Kaneita Y, Uchiyama M, Mishima K, Ohida T	精神神経科
高齢者診療マニュアル 138(2): 114-115, 2009	不眠.	内山真	精神神経科
治療薬 イラストレイテッド 改訂版: 245-249, 2009	睡眠薬	内山真	精神神経科
時間生物学 2: 26-32, 2009	うつ病の時間生物学.	内山真	精神神経科
PSYCHIATRIST 2009 13: 20-28, 2009	不眠とうつ病における疫学から臨床を見直す.	内山真	精神神経科
健康教室 15: 76-79, 2009	ナルコレプシー.	内山真	精神神経科
臨床精神薬理ハンドブック 第 2版: 399-412, 2009	せん妄の薬物療法.	内山真	精神神経科
老年医学 Geriatric Medicine 11: 1417-1475, 2009	高齢者のうつ病の電気けいれん療法.	金野倫子, 内山真	精神神経科
ねむりと医療 2: 1-7, 2009.	睡眠障害の現状と睡眠薬の使用状況.	内山真	精神神経科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
精神科 6: 552-557, 2009	睡眠障害における工夫	内山真	精神神経科
老年精神医学雑誌 11: 1242-1249, 2009	老年期の睡眠障害	内山真	精神神経科
睡眠学: 518-530, 2009	概日リズム睡眠障害	内山真	精神神経科
精神神経学雑誌 12: 1469-1478, 2009	統合失調症の endophenotype としての探索眼球運動	高橋栄, 小島卓也, 鈴木正泰, 松島英介, 内山真	精神神経科
今日の診断指針 第6巻 132-133, 2010	睡眠障害 (不眠症・過眠症)	内山真	精神神経科
神経治療学 27:161-168, 2010	Alzheimer 病の睡眠・覚醒障害と時間生物学的治療	内山真	精神神経科

計 301 件

- 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 澤 充
管理担当者氏名	庶務課長：榎並 修一 医事課長：小峰 勝 病歴課長：千葉 哲夫 医学部庶務課長：立石 重美 医薬品安全管理責任者：吉田 善一 医療機器安全管理責任者：丹正 勝久

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		庶務課 病歴課	病院日誌については、日別、年度別に保管。病歴資料については、カルテ、エックス線写真とも個人別、科別、年度別にファイルし、保存している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	医学部庶務課 板橋病院庶務課	
	高度の医療の提供の実績	病歴課 当該診療科	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病歴課 当該診療科	
	高度の医療の研修の実績	当該診療科	
	閲覧実績	病歴課 庶務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課 庶務課	
第規一則号第一に掲げる十の体制第一の確保各号及び第九の二十三第一項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 庶務課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室 庶務課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室 庶務課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室 庶務課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室 庶務課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理室 庶務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染予防対策室 庶務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理室 庶務課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理室 庶務課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則 第一条の十一 第一項各号及び第九條の二十三 第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染予防対策室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染予防対策室 庶務課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染予防対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染予防対策室
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部 庶務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学技士室 中央放射線部 庶務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学技士室 中央放射線部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学技士室 中央放射線部
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学技士室 中央放射線部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務長 杉山 晴比古
閲覧担当者氏名	庶務課長：榎並 修一 会計課長：大野 修平 医事課長：小峰 勝 病歴課長：千葉 哲夫 資材課長：石川 誠 医学部庶務課長：立石 重美
閲覧の求めに応じる場所	庶務課・会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	4 件
閲覧者別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 1 件
	地方公共団体	延 3 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	62.89%	算定期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数	18,157人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	15,930人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	5,599人	
	D：初診の患者の数	47,165人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>日本大学医学部附属板橋病院は患者の生命の尊厳と安全を確保し、常に高度で先進的な医療を提供する特定機能病院として、安全管理体制の強化を図るため、平成12年3月に医療事故防止マニュアルを作成し、以下の指針及び安全管理体制の確保のための委員会並びに医療事故発生時の対応方法をマニュアル化し整備した。</p> <p>① 医療法の改正に伴い安全管理に関する基本的な考え方等医療安全管理指針を改定（基本理念及び完全管理指針）（平成12年3月制定、平成22年4月改訂）</p> <p>② 安全管理体制組織運営</p> <ul style="list-style-type: none">・ 医療安全管理室運営規則（平成16年1月制定、平成17年11月改訂）・ リスクマネジャーに関する規則（平成16年1月制定）からセーフティマネジャーに関する規則と名称変更（平成18年9月改訂）また、諸規則に記載されている「リスクマネジャー」は「セーフティマネジャー」と読み替えて運用。・ 医療安全ワーキンググループ設置規約（平成18年4月制定、平成18年9月改訂） <p>③ 安全管理体制確保のための委員会</p> <ul style="list-style-type: none">・ 医療安全管理委員会規則（平成12年5月制定、平成18年9月改訂）・ 医療事故対策特別委員会規則（平成12年5月制定、平成17年11月改訂） <p>④ 医療事故発生時の対応方法</p> <ul style="list-style-type: none">・ インシデント・アクシデント・不具合事象（合併症）報告運用規則（平成12年5月制定、平成22年4月改訂）・ インシデント・アクシデントレポート不具合事象（合併症）報告フローチャート（平成12年5月制定、平成13年2月改定、平成13年4月改定、平成16年1月改定）・ 重大医療事故報告ルートフローチャート（平成12年8月制定、平成19年9月改訂） <p>⑤ 患者相談室窓口運用要項（平成15年10月制定、平成16年1月改定）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 患者相談窓口フローチャート	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>「医療安全管理委員会」は医療安全管理室長を委員長として、専任医療安全管理者・診療部門・看護部門・中央部門（薬剤部、中央放射線部、臨床検査部）・事務部門から選出された委員（セーフティマネジャー）により構成されている。定例で月1回の会議を開催し、当院における医療に係る安全管理の基本を決定し、医療事故防止対策の検討及び医療安全の推進を図っている。また、年3回の医療安全講習会の企画・運営を行っている。下部組織として各部門の主任以上の者にセーフティマネジャーを任命し、各部署において医療安全対策を推進している。</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>医療安全管理指針に基づき、安全管理体制と医療事故を未然に防ぐために以下の研修を実施した。</p> <p>① 平成21年6月9日（火）、10日（水）、18日（木）、19日（金） ※第1回医療安全講習会 「患者の死と家族の心」</p> <p>② 平成21年11月17日（火）、19日（木）、24日（火）、12月7日（月） ※第2回医療安全講習会 「災害医療について」「栄養サポートチームから」「セカンドオピニオンについて」「医薬品安全使用の業務手順書について」</p> <p>③ 平成22年3月2日（火）、4日（木）、8日（月）、9日（火） ※第3回医療安全講習会 「院内暴力について」「個人情報に関する留意事項について」「医薬品管理・利用状況の巡視結果」</p>	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (・ 無)
 - ・ インシデント・アクシデントレポートにより、速やかに報告を行う体制を整備している。
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - ① インシデント・アクシデントレポートによる速やかな報告の推進。平成18年度にはインシデントレポートシステムを導入しオンライン化を図った。
 - ② 提出されたインシデントレポート、外部のレポート、現場からの問題提起、インターネットやメディアファックスなどから事例を収集・把握し、情報を得ている。また、上記情報を踏まえて、医療安全管理室は報告された内容を事例によっては当事者立会いによる現場での聞き取りや状況確認を行い、レベルの高い事故事例については平成18年度から設置した4部門の事例別ワーキンググループに付託し、詳細な原因究明分析を行い改善策の検討を行っている。
 - ③ 24時間いつでも提出可能にするために、医療安全管理室にポストを設置。
 - ④ 医療安全管理室室員の連携（情報交換）をとるために、週1回の連絡会を開催し、情報の共有化を図り、分析・予防対策等の検討を行っている。
 - ⑤ 専任医療安全管理者が病棟ラウンドを行い、報告内容の確認及びリスクマネージャーとの連携をとっている。
 - ⑥ 「ヒヤリ・ハット通信」「医療安全注意報」等の発行時には、回覧で読んだことを証明してもらうため、確認票も添付し、そこにサイン（押捺）させ、医療安全管理室で確認票を収集・管理している。
 - ⑦ 可及的速やかに検討が必要な事例が発生した場合、当該部署の医師や看護師ならびにそれに関連する部署の者も集めて「特別症例検討委員会」を開催し、今後再発防止策を検討・実施している。

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 (1 名) ・ 無

⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 (2 名) ・ 無

⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 ・ 無

- ・ 所属職員： 専任 (1) 名 兼任 (10) 名
- ・ 活動の主な内容：
 - ・ 医療安全管理室を設置し、医療安全管理委員会において検討された方針に基づき、組織横断的観点から安全管理対策を企画・立案・実施及び改善を図る。

⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 ・ 無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">基本理念，基本方針，専任者の配置，感染防止対策委員会の設置，職員の研修，感染症発生時の報告，感染症発生時の対策，閲覧について，連絡先，その他	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none">活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">院内の感染症情報の共有，感染対策講習会の準備（企画）と開催，手洗い標準ラウンド，事例検討会，新型インフルエンザ対策，ワクチン接種，安全器材のサンプリング等について	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 10 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">感染防止対策講習会<ul style="list-style-type: none">〈前期〉<ul style="list-style-type: none">抗酸菌検出時の報告方法について職業感染防止について標準予防対策：手指衛生について血液培養検査結果の解釈について注射薬の調製法について各5回〈後期〉<ul style="list-style-type: none">新型インフルエンザと季節性インフルエンザ対策について感染性胃腸炎（ノロウイルス）の対応について消毒剤などの使用期限について職種別研修（理学療法士・看護助手・清掃員）感染対策問題	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	(有・無)
<ul style="list-style-type: none">病院における発生状況の報告等の整備その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">感染症発生時，細菌検査室から主治医へ，と同時に隣室の感染予防対策室の専従の感染管理者への報告があり，現場へ直ちにラウンドし感染対策の強化については，検討・確認している。手指衛生月間（ポスター掲示）を設け，ICC手洗い評価ラウンドの実施チェッカー（ブラックライト）を用いて手指衛生評価の実施病棟男女トイレの水栓を自動水栓へ切り替え汚物室環境整備基準を作成し，汚物室環境整備状況調査の実施手指衛生，個人防護具の着脱の手順遵守を他者・自己評価した（チェックリスト作成）採血時の手袋装着遵守の為のポスター作成CAUTIサーベイランス（神経内科，血液・膠原病内科，泌尿器科，脳神経外科の4部署）	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">消毒薬などの使用期限について医薬品の安全使用のための手順書について医薬品の管理・使用状況	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">手順書の作成 (<input checked="" type="checkbox"/>・無)業務の主な内容：<ul style="list-style-type: none">薬剤管理委員会の委員が手順書に基づき、病棟等の医薬品管理状況を巡回し指導を行った。また、手順書の内容を検討し追記改訂を行い、医療安全管理委員会で承認された。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医薬品に係る情報の収集の整備 (<input checked="" type="checkbox"/>・無)その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">後発医薬品への切替についてデカドロン注射液の含量表記変更についてウブレチド錠 排尿困難の用法用量変更についてマイスタン錠 細粒オーダー名称表示変更について各部門への情報提供並びに情報確認表の提出による周知を行った。	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 医療機器の有効性・安全性に関する事故・ 医療機器の使用法に関する事項・ 医療機器の保守点検に関する事項・ 医療機器の不具合が生じた場合の対応に関する事項・ 医療機器の使用に関して発生した場合の対応に関する事項・ 医療機器の使用に関して特に法令上遵守すべき事項・ 新しい医療機器の導入時研修・ 医用ライナックの構造、保守管理・ 放射線発生装置の安全な取り扱いについて	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 計画の策定 (☑・無)・ 保守点検の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 保守点検の計画・実施表作成・ 定期点検 (各医療機器のマニュアルに沿った期間で行う)・ 日常点検 (始業点検, 使用後, 修理, 使用中等) の実施及び記録・ 医療ライナック：定期点検, 年4回 メーカーに依頼・ R A L S : 定期点検, 年4回 メーカーに依頼・ 定期点検は, 各機器のマニュアルに沿った期間で行い, 人工呼吸器, 輸液ポンプ, シリンポンプ等, 一部の機器は臨床工学技士が行い, その他の機器はメーカーに依頼する。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (☑・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ メーカーからの安全使用に関する情報通知内容を関係職員に回覧し, 情報の共有化を図っている。また, 安全情報をファイルし, 適宜閲覧可能とする。・ メーカーからの回収・事項に則り適宜改修を行っている。・ 治療計画装置の安全使用を図るために, 保守契約項目にソフトのバージョンアップを含め常に最新のソフトを使用している。・ 病棟巡視を行い, 各病棟における医療機器の操作方法等の説明, 安全情報の伝達を行っている。また, 随時安全情報の伝達を医療安全管理室と連携を取りながら行い安全啓蒙のポスター・チラシ, 医療機器ポケットマニュアルを作成配布している。・ 看護師の希望対象者を対象に医療機器研修会として病棟で取扱う医療機器の安全使用方法, 注意点等を実際に機器を扱いながら行い, 安全使用に必要な知識を伝えている。 (月に6~8回 1回約3時間 2名の少人数制で行っている)	